

第1回 国道121号日光地区 防災検討会資料

平成30年3月14日

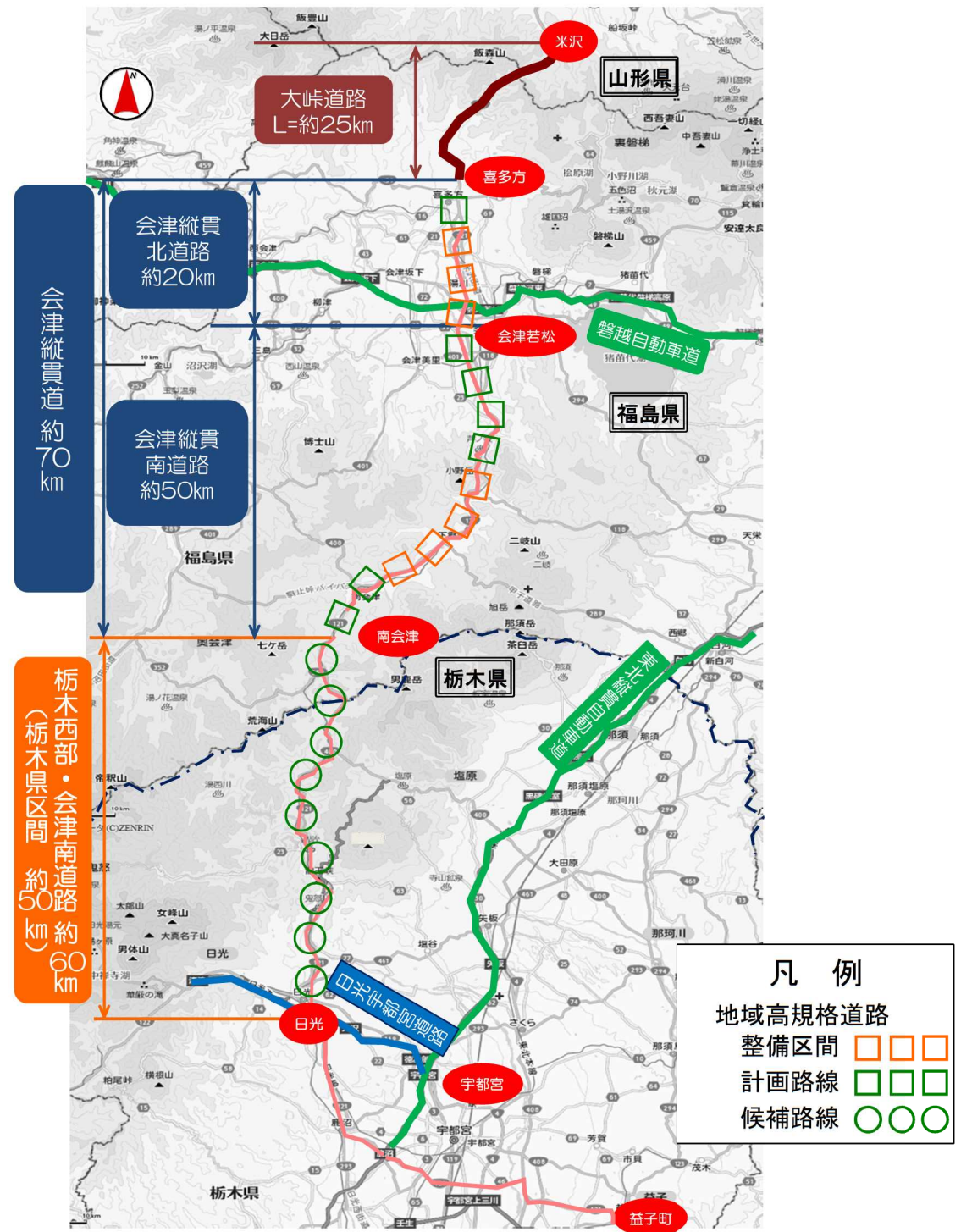
国道121号の概要

・ 全体概要	1
・ 整備状況	2
・ 上位計画による路線の位置づけ	3

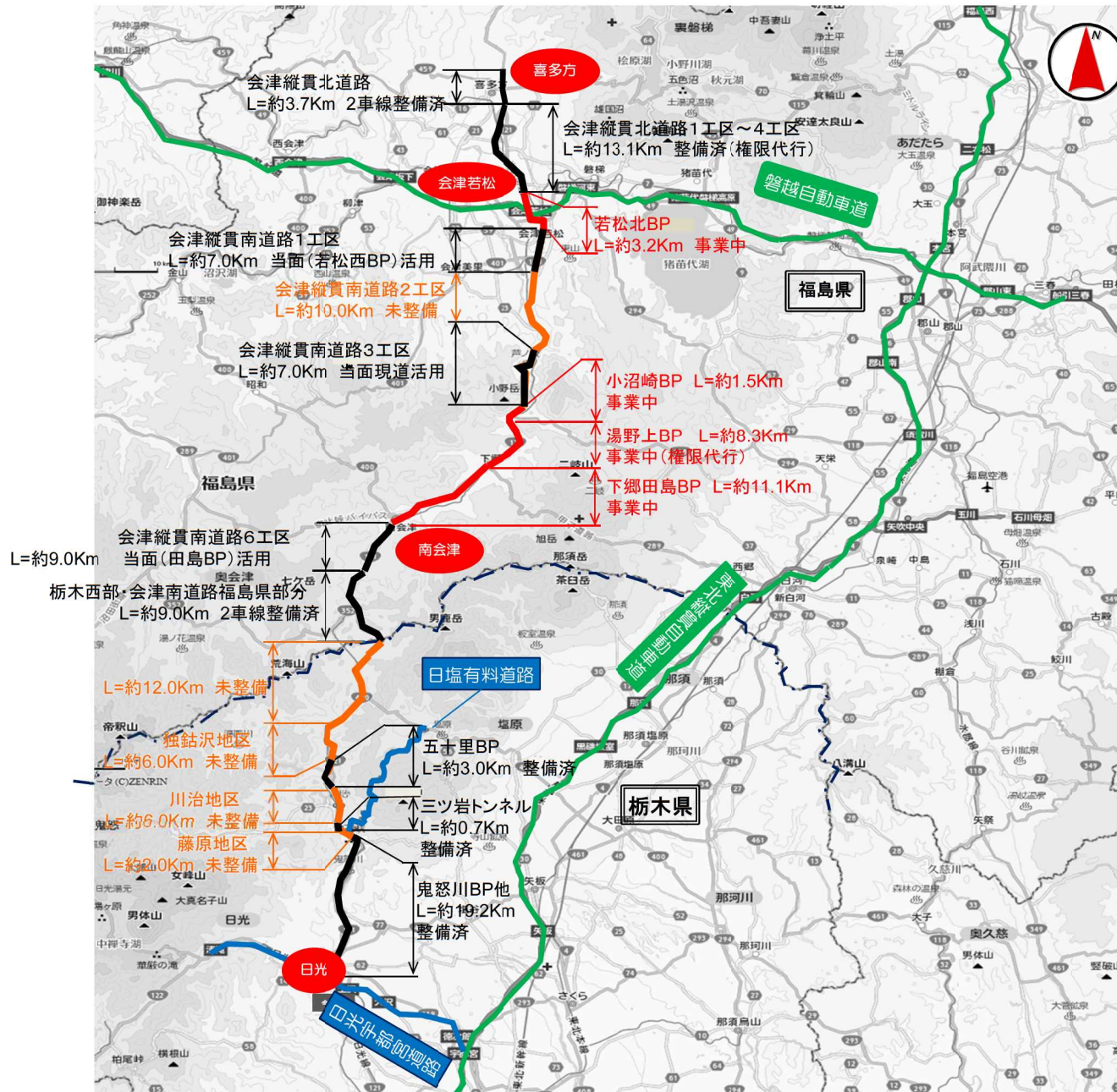
- 一般国道121号は山形県米沢市から福島県会津若松市、栃木県日光市を經由して栃木県宇都宮市から一般国道新4号に接続し、益子町に至る路線
- 日本を代表する観光地を連絡
- 栃木県日光市～福島県喜多方市までが地域高規格道路※に指定されている。

※地域高規格道路とは
高規格幹線道路を補完し、地域の自立的発展や地域間の連携を支える概ね60km/h以上の走行サービスを提供できる道路

広域図



■ 栃木県内は日光宇都宮道路から日光市藤原(日塩有料道路分岐部)に至る部分が開通している。
また、福島県内は会津若松市から喜多方市間が開通するなど整備が進んでいる。



未整備区間



川治地区



藤原地区

整備済区間



鬼怒川有料道路



鬼怒川バイパス

国の計画

首都圏広域地方計画(H28.3国土交通省)

日光・会津・上州歴史街道 対流圏の強化プロジェクト※

※広域的な連携・協力をし、今後概ね10年にわたって重点的に実施する
具体的取組を戦略プロジェクトとして位置づけたもの



(8) P J 4-8. 日光・会津・上州歴史街道対流圏の強化プロジェクト

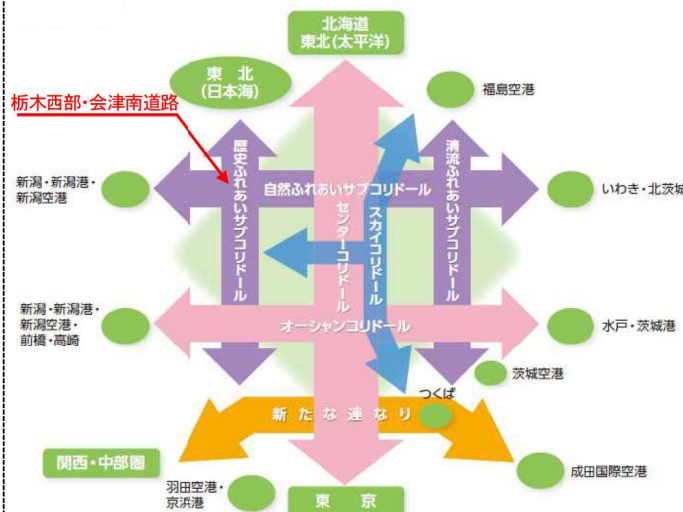
1) 目的・コンセプト

日光・会津・上州を中心とした地域には、他の地域には無い歴史をテーマとした観光資源が数多く存在し、温泉や豊富な自然も有するなど、純日本の地域資源が広く集積するエリアである。こうした特性を有する本地域において、主要観光地の連携・交流を強化し、スローライフ、田舎暮らし等をコンセプトに『日本のふるさと』としての地域イメージを定着させることで、インバウンドを含む観光振興による交流人口の増加を図る。また、都市と農山村の交流促進による持続可能な地域コミュニティの形成により、本地域特有の地域資源を将来世代へと引き継ぐ。

県の計画

とちぎ元気発信プラン(H28.2栃木県)

コリドールネットワーク



コリドールネットワーク

本県では、交通基盤等を軸に、人、モノ、技術、産業、文化などが活発に交流し、これらを通して有機的な連携が図られる地域の連なりを「コリドール」と呼び、そのネットワークの形成を進めてきました。

[3つのコリドール] ~全国や世界とのつながり~

- センターコリドール：東京圏から東北・北海道地域を結ぶ広域圏を形成する国土の主要な連なりであり、情報・文化・人材の交流が展開されます。
- オーシャンコリドール：本県を太平洋と日本海に結びつける広域圏を形成する連なりであり、国際貿易港を通じて世界につながる産業や文化の交流が展開されます。
- スカイコリドール：成田国際空港、つくば及び福島空港を介して産業、文化、観光、科学技術などの国境を越えた多彩な交流が展開されます。

[3つのサブコリドール] ~県内の個性ある地域の連なり~

- 自然ふれあいサブコリドール：本県北部を中心に茨城県北部と群馬県北部を結ぶ連なりであり、豊かな自然、歴史、文化とのふれあいを通じた交流が展開されます。
- 歴史ふれあいサブコリドール：本県西部を中心に東京圏から会津を結ぶ連なりであり、歴史、文化、芸術などを生かした交流が展開されます。
- 清流ふれあいサブコリドール：本県東部を中心に福島県、茨城県の間接地域を結ぶ連なりであり、那珂川沿川地域の自然、歴史、文化を生かした交流が展開されます。

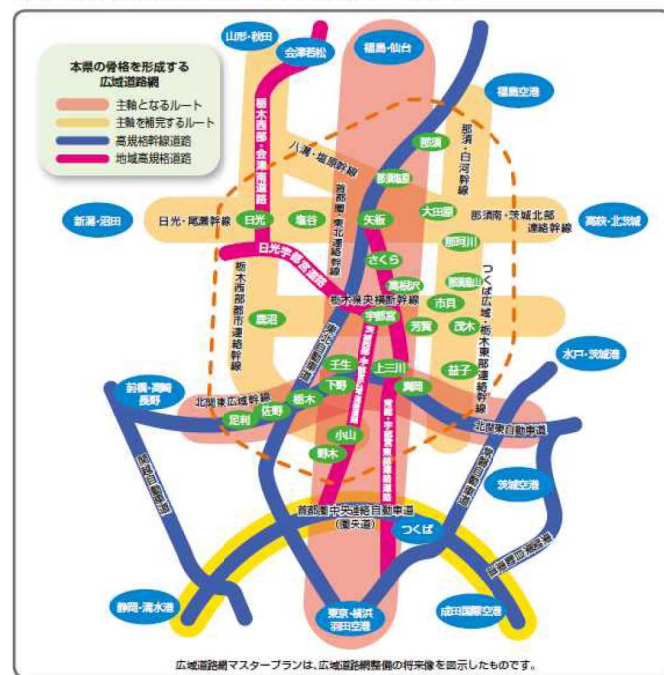
[新たな連なり]：本県と関西・中部圏を結びつける新たな交流・連携をもたらすと同時に、成田国際空港を通じて世界につながる連なりであり、更なる情報・文化・人材の交流が展開されます。

とちぎみちづくり構想(H28.6栃木県)

広域道路網マスタープラン

広域道路網マスタープラン

本県の骨格を形成する高規格幹線道路を中心として、特に重要である格子状(グリッド型)の広域幹線道路網の重点的な整備を推進することで、県全体に整備効果を波及させていきます。



都市と農山村の連携イメージ図

農山村地域においても一定の都市的サービスが享受でき、大規模災害時には防災・減災機能を発揮させるため、都市と農山村とを結ぶ地域連携道路の充実・強化を図ります。

